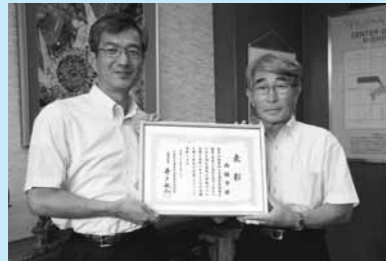


# Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市立北はりま農産物直売所オープン2周年を記念し「みんなの夏祭り」を開催。  
(7月6日・7日 北はりま旬菜館)



交通死亡事故が市内で300日間発生しなかったため、兵庫県交通安全対策委員会会長が西脇市を表彰。  
(7月1日 西脇市役所)



西脇高校・西脇工業高校茶道部生徒によるチャリティー茶会。お茶券収入の一部はあしなが育英会に寄附。  
(7月13日 センティア西脇)



「緑のカーテン」で採れたゴーヤを用いて園児がゴーヤチャンプルづくり挑戦。  
(7月12日 楠丘幼稚園)

## 涼しげな浴衣で播州織の魅力を発信

〔7月7日 播州織工房館〕



播州織の浴衣を着て、さっそうと歩く男性。目玉の「男のゆかたファッションショー」にて。

中心市街地のにぎわい創出や地場産業の振興、播州織の魅力を発信するため、「第5回七夕・ゆかたまつり2013」が開催されました。毎年恒例の播州織ゆかたファッションショーに今年は男性が多数登場したほか、ライブや紙芝居も行われました。

## 黒田官兵衛を核に各団体が連携してまちづくり

〔7月16日 生涯学習まちづくりセンター〕



協議会には、商工会議所や観光協会、商業連合会、料飲組合、北播磨黒田官兵衛生誕地の会、黒田庄の歴史を学ぶ会などが参画

黒田官兵衛を核としたまちづくりの推進や地域の活性化を目指して、西脇市「官兵衛の里」推進協議会が設立されました。今後は、協議会を構成する各団体が連携をしながらイベントの実施や観光客の誘致、特産品の開発などの取り組みが進められます。

## バケツで初期消火し延焼を防止

〔7月2日 西脇消防署〕



消防功労者表彰を受けた村上昌紘さんと村井さおりさん (左から)

6月に発生した2件の火災において、119番通報や初期消火に尽力し延焼拡大を防止された3名に、西脇消防署から消防功労者表彰が贈られました。  
▼村上昌紘さん(黒田庄町岡)  
▼村井さおりさん(堀町)  
▼松本英隆さん(野村町)



上) 慎重に取り出されるポストカプセル  
左) 10年前からの手紙を手にして

平成15年7月12日、西脇しばざくら通り商店会協同組合は「ポストカプセルしばざくら2013」事業として、市内の保育園や学校園などから募集した手紙を埋め込まれた2つの大きな土瓶の中から、丁寧にビニール袋に包まれたたくさんの封筒が姿を現しました。同組合の中原克己理事長は、自身のこの10年に思いを重ねながら、「この3,975通の手紙には、夢や希望、そして身近な人への感謝など大切な気持ちがいっぱい詰まっています。一人でも多くの方に手紙を届けたいです。」と話していました。

この後、封筒は組合員と西脇南中のボランティアの皆さんの手によって、そのほとんどが無事投函されました。今頃は、皆さんのお手元に幸せを届けてくれているのではないのでしょうか。

大切な人へ…10年前から届いた手紙  
〔7月13日 しばざくら通り〕



上) 黒田美江子さんによる講演  
左) 地元のコーラスグループによる合唱

黒田官兵衛を核に地域づくりに取り組んでいる「北播磨黒田官兵衛生誕地の会」の主催で、歴史研究家・黒田美江子さんの講演会が開催されました。

黒田さんは「私は、黒田官兵衛の生誕地は間違いなく黒田庄だと思えます。ふるさとで生誕地の会の皆さんがこんなに頑張っておられ、しのぶ歌もでき、さぞ官兵衛さんは喜んでいらっしゃるでしょう」と述べられました。

また、茶道や連歌にも精通し文人としての顔を持つ黒田官兵衛のエピソード紹介からは、官兵衛の強い信念と素晴らしい人柄がうかがわれ、会場の黒田庄中学校に集まった400人を超える方が熱心に聞き入っていました。

講演に先立って、オリジナル合唱曲「黒田城」など3曲が地元のコーラスグループの方々によって初めて披露されました。

黒田官兵衛の生誕地で講演会  
〔6月30日 黒田庄中学校体育館〕

# まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!